

情報公開文書

課題名 : 膵臓癌に対する外科治療成績に関する研究

研究期間: 倫理委員会承認日～2025年12月31日

1. 研究の対象

2001年8月以降に当院で外科的治療を受けられた膵臓癌の方

2. 研究目的・方法

膵臓癌は早期診断が難しいといわれており、診断時にはすでに周囲の臓器への浸潤や離れた臓器への転移を来していることが多く、また、一般的に悪性度が高く、予後不良な悪性腫瘍として知られています。膵臓癌の治療の中で外科的な根治切除は長期生存のための重要な治療手段です。しかしながら、手術に伴う身体的なストレスは大きく、腹部外科手術の中でも手術に係る合併症が比較的多いです。また、膵臓癌の切除後の再発率は高いです。近年、薬物療法の進歩により診断時には手術困難であっても、化学療法を行い治療効果を認めた症例に切除を行うことにより、長期的な予後を認める症例があることが知られるようになり、手術療法と薬物療法とのコンビネーション治療が重要と考えられるようになってきています。外科的治療を行った膵臓癌の患者さんの治療成績を検証し、治療対象となった患者さんの特徴、手術の方法、手術に伴う合併症を検討するとともに、生存、再発に影響する因子を検索することで、医学の進歩に即した至適な治療戦略を提案します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢、性別等の基本情報、病歴、血液検査結果、画像診断結果、治療歴、合併症の発生状況、病理結果、現在の状況 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 消化器外科 田村 浩章(研究責任者)

静岡県浜松市中区富塚町 328 Tel: 053-453-7111(代表)